

事業番号	06 01 04	事業改善シート（令和6年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	地球温暖化適応策推進事業費	部局	環境部	課・室	環境政策課				
		実施期間	H27 ～	E-mail	kankyo @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

・温室効果ガス排出量を削減する「緩和策」を最大限実施しても温暖化は一定程度進行し、気候変動による影響は各分野で発現しつつある。このため、これら気候変動の影響による被害を回避・軽減、もしくは有益な機会として活かす「適応策」の推進が重要となっている。

・温室効果ガスの抑制を行う緩和策に比べて、気候が変化した環境への適応策は認知度が低く、関心を高めるための機会や施策が必要である。

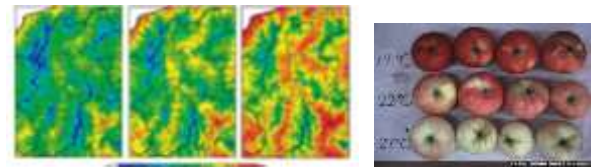
2 事業目的

令和3年6月に策定した気候変動適応法に基づく地域気候変動適応計画に基づき適応策を実施するとともに、適応策に対する県民の関心を高めるためリスクコミュニケーションを強化していく。

3 事業目的を達成するための取組

①気候変動の実態把握や影響調査

・信州気候変動適応センターでは、気象情報の収集・管理、県内の気候変動の実態や影響のモニタリング等により、気候変動に関する情報の収集・分析・提供を行うとともに、適応に必要な情報の発信を行う。具体的には、信州・気候変動モニタリングネットワークを活用し、都市・山岳部の気象観測・データ収集及び気候変動予測・影響分析を実施する。



長野県における年平均気温の
将来予測シナリオ：RCP8.5
着色期の高温による影響

②適応策の開発・立案

・信州気候変動適応センターでは、様々な主体による適応策の創出や、市町村等の気候変動適応に関する取組に対し、支援を行う。具体的には、信州・気候変動適応プラットフォームを活用し、適応技術（施策）の開発（立案）を促進するため、産学官の連携により、観測・分析結果の情報共有及び適応策に係る課題の検討を実施する。

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
①	気候変動の実態を把握するための気象情報の収集地点数	地点	375	383	↗	378	↘	377	達成 影響把握を行うにあたり、気温、降水量などの気象情報の収集地点数は重要な要素であり、これまでに必要な観測地点の配備が概ね完了したため、現状維持を目標とする
②	指標なし								

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
1-1①	持続可能な脱炭素社会の創出										

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R6年度	0	17,530	△ 14,774	2,756	2,156	2,283	16.0
R5年度	0	33,834	△ 25,645	8,189	2,269	3,488	16.0
R4年度	0	26,602	△ 19,751	6,851	2,056	2,847	16.0

事業番号	06 01 04	事業改善シート（令和6年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	地球温暖化適応策推進事業費		部局	環境部	課・室	環境政策課	

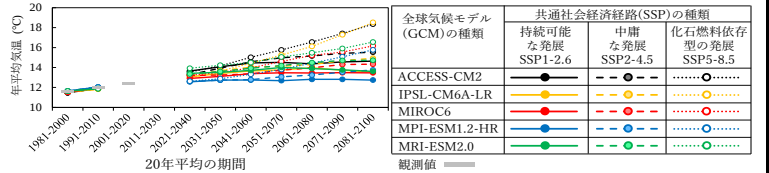
7 主な取組実績と成果

①気候変動の実態把握や影響調査

・気候変動への適応を推進するための基礎データの収集・整備として、国立環境研究所が作成した日本域CMIP 5 データ (NIES2019)をダウンロードして解析するとともに、日本域CMIP6データ(NIES2020)に基づく3種類のシナリオと5種類のモデルで高解像度化された気候予測値を用いて長野県の気温、降水量、日射量、相対湿度、風速の将来変化を解析・公開した。

・県内のさまざまな機関より収集した気象データ等の更新・整備し、気象庁の気象観測値については気温、降水量、日照時間、風向・風速、積雪深などの長期変化傾向を解析した。

・学校における熱中症リスク情報、果樹の凍霜害影響情報、市民参加型生態系影響情報などの作成を進めた。



②適応策の開発・立案

・環境省中部山岳国立公園管理事務所主催のコンソーシアムに参画し、中部山岳国立公園にて研究を行っている研究者らと生態系の気候変動適応に資する情報について共有をした。

・飯山市の地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の適応に関する項目について助言、松本市のゼロカーボン市民アクションプラン策定の支援、東御市職員への温暖化対策研修、小布施町の気候変動による農業対策の相談対応を行った。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①	気候変動の実態を把握するための気象情報の収集地点数	R5年度推移	↗	R6年度推移	↘	達成状況	達成
基本的には毎年継続して観測されている地点のデータを収集しているため、収集地点数に大きな増減はない。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題
気候変動の実態把握や影響調査については、これまでの整備したデータや研究成果がたまりつつある。その一部は県民等からの依頼による講演や広報誌にて積極的に発信しているが、ホームページによる情報提供が遅れていることが課題と考えている。 また、膨大なデータの処理が困難なため、市町村等が個別に収集している気象データの収集まで至っていない。 気候変動適応に関する県民・事業者等への周知も十分ではなく、これまでの得られた調査結果を基にした適応策の検討が課題である。
(2) 事業改善の方策
効果的に情報提供を行えるよう、ホームページの抜本的な改修や、掲載情報の更新時期等について検討する。 また、収集地点数を増加し、より詳細な影響予測を行うため、大量のデータを処理するためのプログラムを作成するなど、データ処理の効率化に取り組む。

事業番号	06 01 04	細事業一覧（令和6年度実施事業分）		☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ■点検		
事業名	地球温暖化適応策推進事業費		部局	環境部	課・室	環境政策課

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	地球温暖化適応策推進事業		2,847 千円	3,488 千円	2,283 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	・気候変動影響を把握 ・適応技術（施策）の開発（立案）を促進	直接	・気候変動影響の把握のため、信州・気候変動モニタリングネットワークにおいて都市・山岳部の気象観測・データ収集及び気候変動予測・影響分析を実施 ・信州・気候変動適応プラットフォームでは、適応技術（施策）の開発（立案）を促進するため、環境省主催のプラットフォームにおいて情報収集を行ったほか、市町村の計画策定支援を実施 プラットフォーム参加団体数 53団体		